

厚沢部町

カーボンニュートラルビジョン（概要版）



はじめに

背景

- 気象災害の頻発・激甚化など、気候変動リスクを踏まえた新たな取り組みが求められており、2050年カーボンニュートラル達成など社会情勢が大きく変化しています。
- 厚沢部町は、穏やかな気候と豊かな山河に囲まれた恵み豊かなまちであり、恵まれた地域を守り、発展させ、次世代に引き継ぐためのまちづくりが必要となります。

目的

- 2050年の脱炭素社会の構築に向けて、地域における再生可能エネルギーのポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを踏まえた再エネ導入目標を策定し、その目標を実現するための具体的施策やロードマップなどを策定しました。
- 本計画により再生可能エネルギー導入を促進し、ゼロカーボン化が地域の持続的発展につながることを目的としています。

本ビジョンは環境省補助事業である令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジリエントな地域社会実現支援事業）により作成しました。

計画策定の基本的事項

計画策定の意義

- 厚沢部町の自然的社会的条件を考慮した上で、厚沢部町が持ち得る資源を最大限に活用し、再生可能エネルギーの導入を通して地域の課題解決に寄与すること、地域の魅力を更に向上させていくことを目的に策定しました。

計画の位置づけ

- 本計画は分野を横断した総合的な長期戦略かつ地域の成長戦略となるため、他分野における行政計画と連携を取りながら施策の検討、策定、実施を行います。また計画の見直し・実施段階において進捗管理を行います。

計画期間と目標

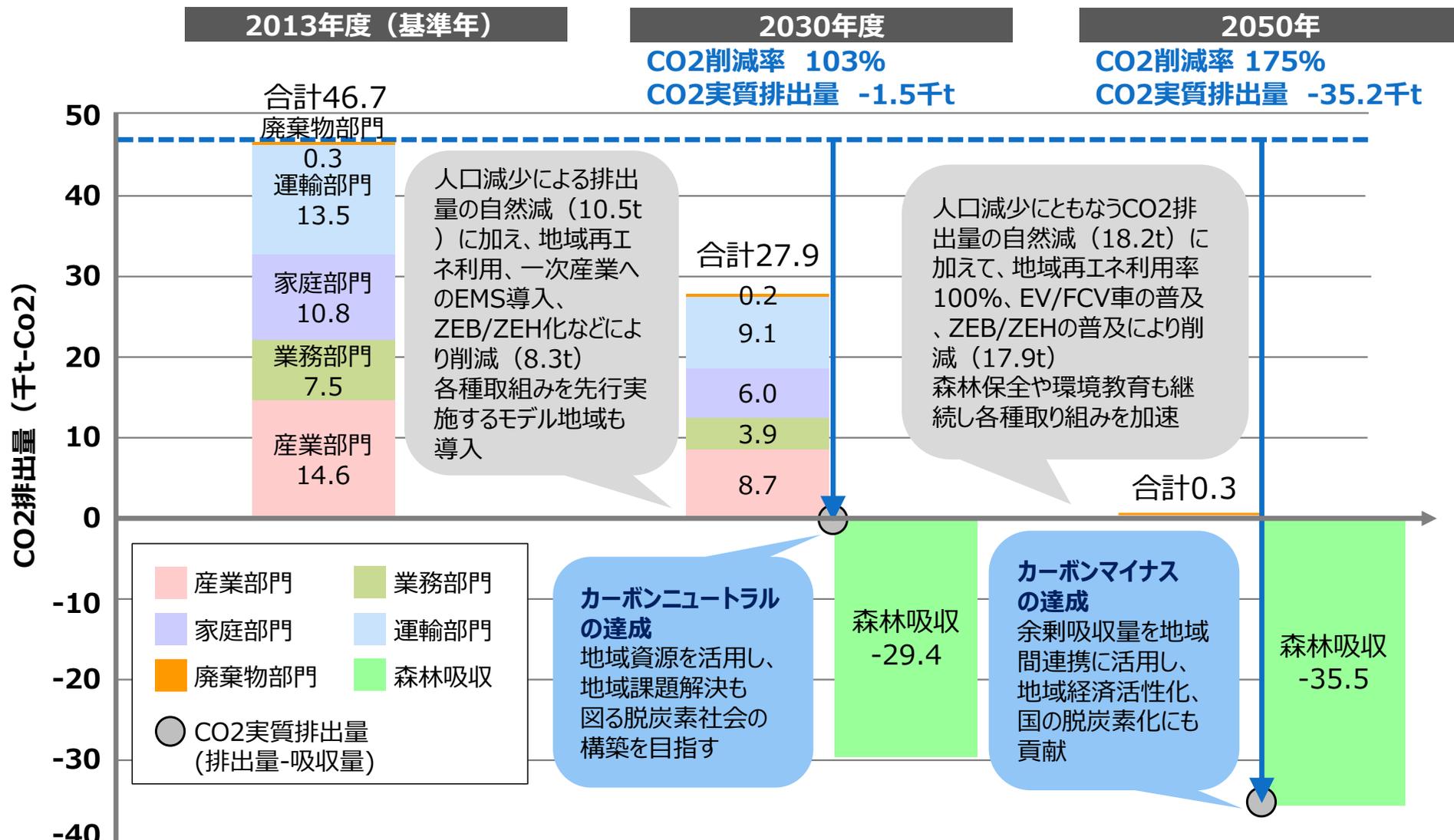
- 2013年度を基準年度、2030年度を中間目標年度、2050年を長期目標年度とし計画の策定・施策の進捗管理を行います。
- 世界の動向や日本が目指す2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、厚沢部町でも意欲的な目標達成を目指します。

本計画における計画期間と目標

項目	基準年度	中間目標年度	長期目標年度
年度	2013年	2030年	2050年
CO ₂ 削減率	—	カーボンニュートラル 100%以上削減の達成	マイナスカーボン 170%以上削減の達成
CO ₂ 実質排出量(①-②)	—	-1,500 t-CO ₂	-35,200 t-CO ₂
① CO ₂ 排出量	46,700 t-CO ₂	27,900 t-CO ₂	300 t-CO ₂
② CO ₂ 吸収量	—	29,400 t-CO ₂	35,500 t-CO ₂
再生可能エネルギー導入量	—	3,337 MWh エネルギー消費量の約20%	28,647 MWh エネルギー消費量の約100%

CO2排出量の現状と将来推計（温室効果ガス削減目標）

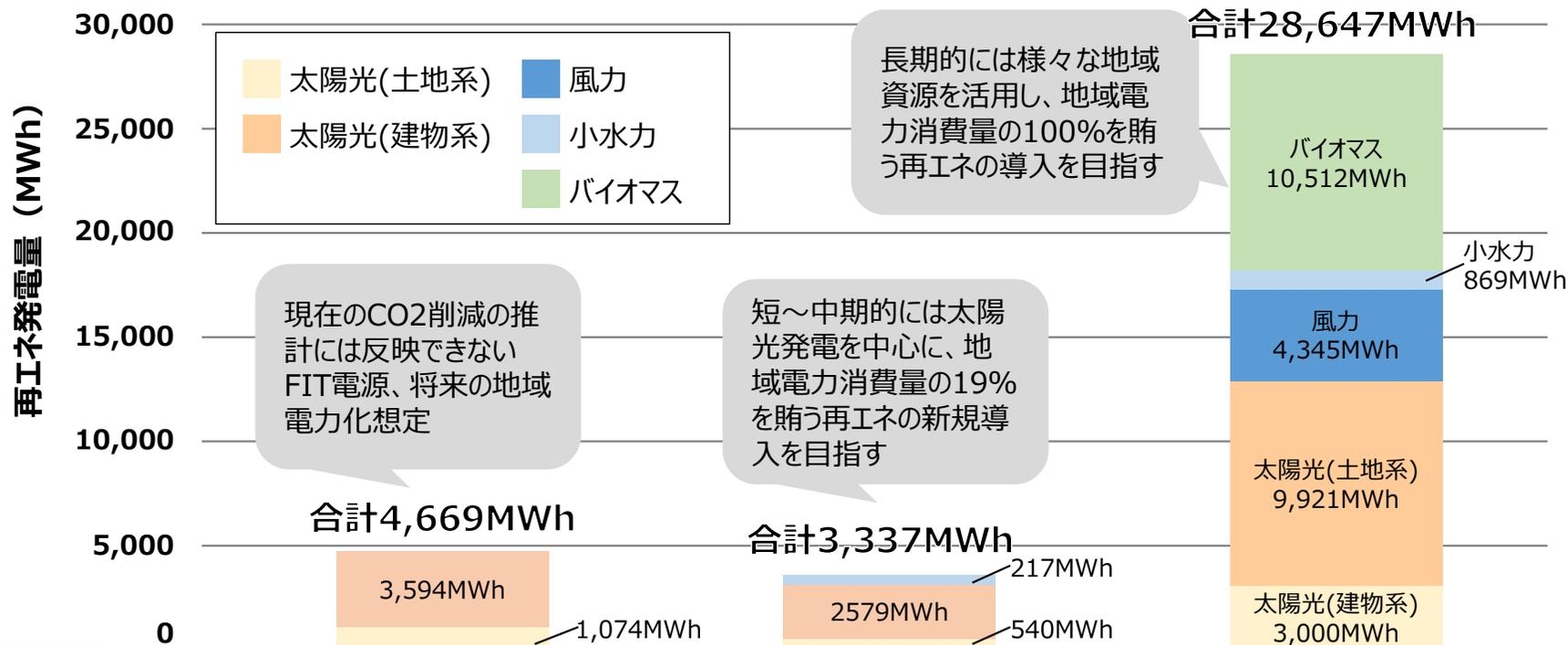
- 厚沢部町のCO2排出量の現状を把握し、脱炭素の取り組みを推進した場合の将来推計を行いました。
- 将来ビジョンから再エネ導入、一次産業の活性化、快適で豊かなライフスタイルに繋がる施策の効果を反映しました。
- 厚沢部町は**2030年カーボンニュートラル**（103%減）、**2050年マイナスカーボン**（175%減）を目指します。



再生可能エネルギー導入目標

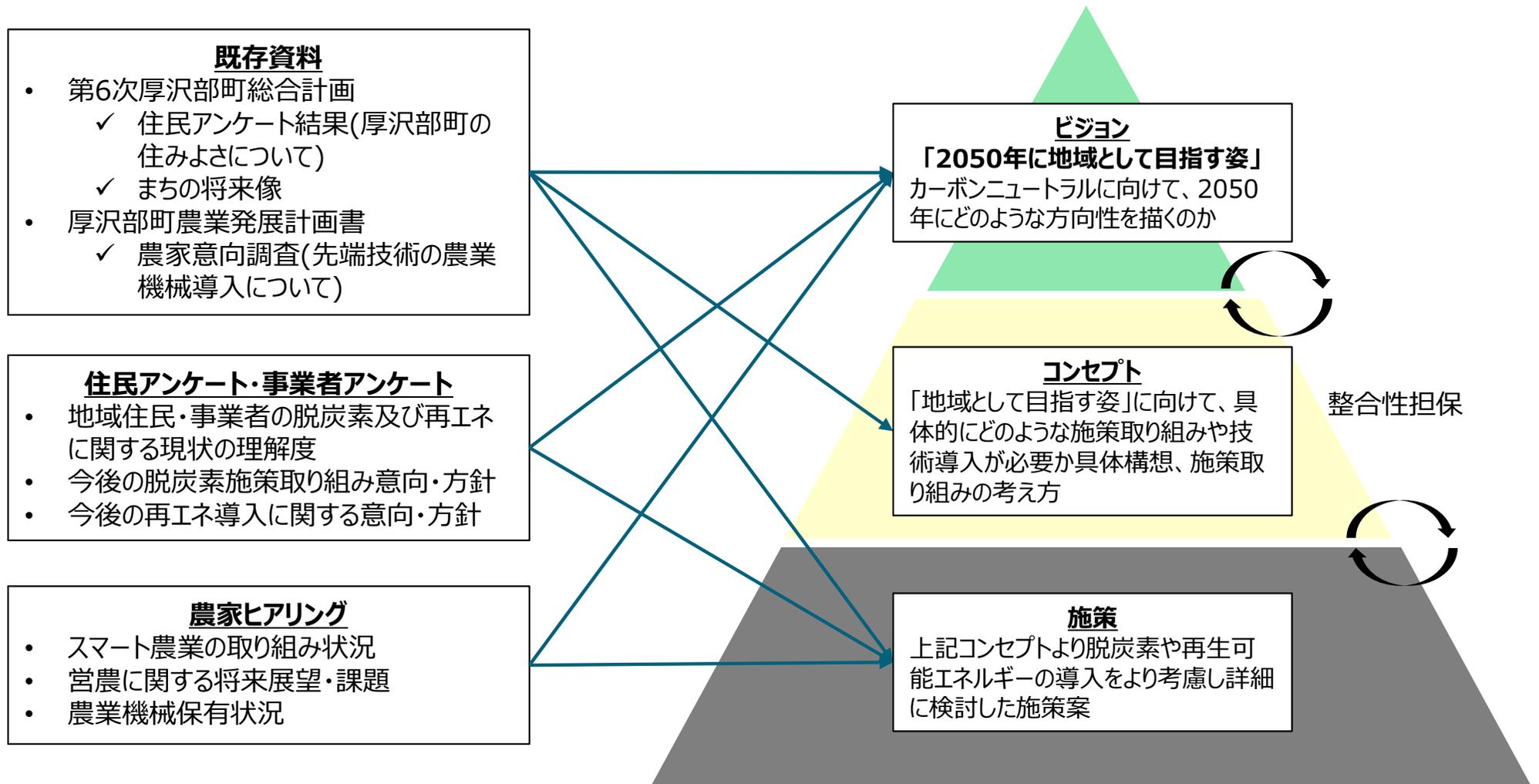
- CO2排出量の削減目標に応じた再生可能エネルギーの導入目標（地域再エネ利用率）を検討しました。
- 地域の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル、導入可能性も考慮し、短～長期的に各種再エネを組み合わせた導入目標とし、**地域再エネ利用率は2030年に約20%、2050年に100%**としました。
- また、再エネを地産地消できる仕組みづくり（地域電力会社など）も行います。

	2021年度	2030年度	2050年
エネルギー消費量	18,335 MWh	17,927 MWh	28,584 MWh
地域再エネ利用率	0 %	19 %	100 %
再エネ種別 設備容量目安	太陽光(建物) : 0.9MW 太陽光(土地) : 2.7MW	太陽光(建物) : 0.5MW 太陽光(土地) : 2.0MW 小水力 : 0.1MW	太陽光(建物) : 2.5MW 太陽光(土地) : 7.5MW 風力 : 2.0MW 小水力 : 0.4MW バイオマス : 1.5MW



将来ビジョン

- カーボンニュートラルの実現を目指すにあたり、再生可能エネルギーの導入や省エネ等の施策を実施するとともに地域としての将来ビジョンを描くことが重要です。
- 既存資料・アンケート結果・ヒアリング結果などを参考とし、ビジョン、コンセプト、施策を策定し、それぞれの間で整合性が図られるよう検討しました。



将来ビジョン

- 将来ビジョンは「再生可能エネルギーの導入・カーボンニュートラルで実現する世界一素敵な過疎のまち・厚沢部町」とし、これに関連するビジョンとして「エネルギーの地産地消によるエネルギーコストの低減と経済活性化」、「多様な人材が活躍可能な営農環境の実現」、「自然と共生する豊かで暮らしやすい町」を策定しました。
- これらビジョンを実現し、少子高齢化・人口減少への対応や雇用就業機会の確保がかなう、安心・安全で快適なまちを目指します。



再生可能エネルギーの導入・カーボンニュートラルで実現する
世界一素敵な過疎のまち・厚沢部町

少子高齢化・人口減少への対応

雇用就業機会の確保

安心・安全で快適なまち

将来ビジョンの実現に向けた施策

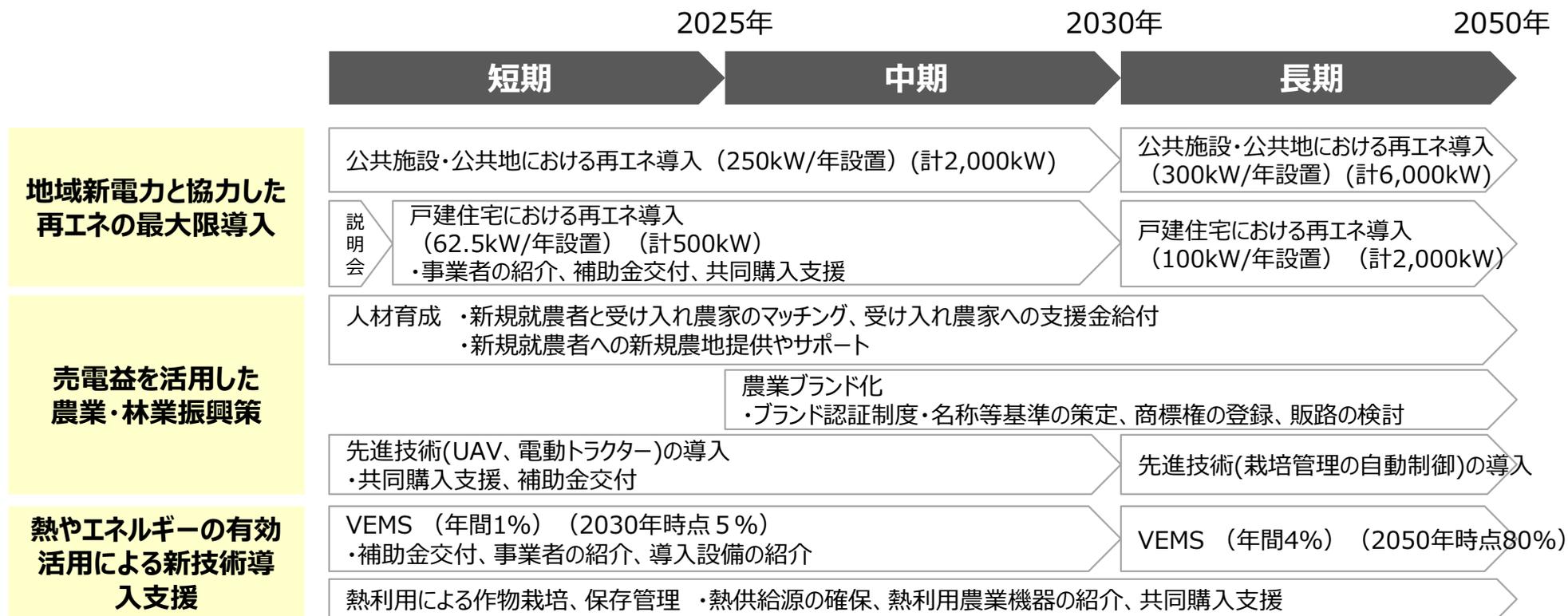
- ビジョンに紐づくコンセプトとして「地域新電力と協力した再生可能エネルギーの最大限導入」、「売電益を活用した農業振興・林業振興策」、「熱やエネルギーの有効活用による新技術導入支援」、「快適な省エネライフスタイルの導入」、「自然資本の活用」、「環境意識の醸成」を策定し、各施策を導出しました。

ビジョン		コンセプト	施策
再生可能エネルギーの導入・ カーボンニュートラルで実現する 世界一素敵なお洒落のまち・厚沢部町	①エネルギーの地産地消 によるエネルギーコストの 低減と経済活性化	地域新電力と協力した 再エネの最大限導入	小水力発電 太陽光発電 バイオマス発電
	②多様な人材が活躍可 能な営農環境の実現	売電益を活用した 農業・林業振興策	人材育成 設備、販路開拓等に 関する補助事業 農業ブランド化 UAVの活用 栽培管理の自動制御
	③自然と共生する豊かで 暮らしやすい町	熱やエネルギーの有効活用 による新技術導入支援	熱利用による 作物栽培、保存管理 VEMS導入
		快適な省エネ ライフスタイルの導入	EV・FCV化 ZEB化、ZEH化
		自然資本の活用	廃棄物の削減・ リサイクル推進
		環境意識の醸成	森林吸収 環境教育

【略語の説明】 UAV：ドローンなど無人で飛行する航空機、VEMS：農村を対象とした最適なエネルギー管理システム、
EV・FCV：電気自動車・燃料電池自動車、ZEB・ZEH：再エネ導入や省エネによりエネルギー収支をゼロ以下にした建物

将来ビジョンの実現に向けたロードマップ

- 将来ビジョン・コンセプトを元に、本計画では2030年100%以上削減、2050年175%CO2削減の目標達成に向けた具体的な施策、ロードマップ、そして重要施策の詳細を検討しました。
- 短～中期的は**公共施設・公共地・戸建住宅における再エネ導入、産業部門のスマート化・熱利用、EV・FCV車の導入、森林保全等**に取り組みます。
- 長期的には**各種取り組みの普及を図り、さらに人材育成、ごみの減量化・リサイクル、環境教育・普及啓発**に継続的に取り組みます。
- 計画達成に向けては、**厚沢部町役場と地域の住民・事業者が協力・連携**し、各種取り組みを推進していくことが重要となります。



将来ビジョンの実現に向けたロードマップ



計画の実施及び進捗管理

- 次年度以降に、産学官を基盤とした協議会を立上げ、施策の実証・実装に向けた検討を開始します。
- 当該協議会にて、実現可能性が高いと判断された施策や、協議会参加者の推進・参画意欲が高い施策に関しては、個別にWGを立上げ、実証・実装に向けた具体の検討を進めます。
- また、本計画の持続可能性を担保するために、協議会による定期検証を行い必要に応じて計画を見直します。

推進体制(案)

実現可能性が高いと判断された施策

